土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　地方港湾大竹港（東栄地区）臨港道路詳細設計業務委託

事業名 または 工事名

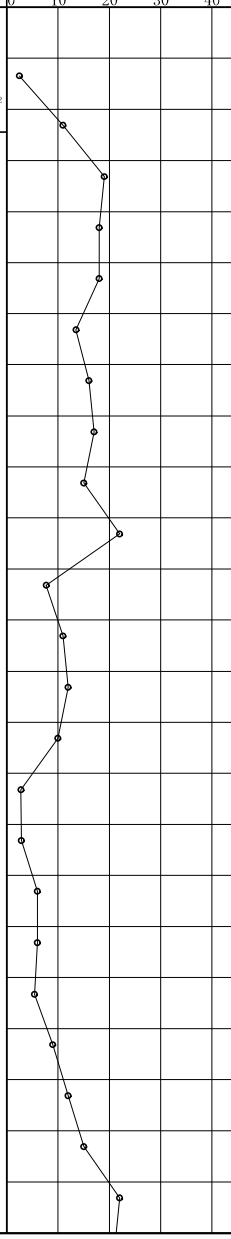
調査目的及び調査対象　道路 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 1	**調査位置**	広島県大竹市南栄二丁目地内			**北緯**	34° 12′ 36.2056″
発注機関	広島県西部建設事務所　廿日市支所			**調査期間**	令和3年 7月 12日 ～ 令和3年 7月 21日	**東経**	132° 13′ 41.8618″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 2.34m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平 0° 鉛直 90° 33°
総削孔長	37.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦D1
							エンジン ヤンマーNFD-13　**ポンプ** 東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	2.09	0.25		コンクリート		灰				コンクリート。	
1 2	-0.66	3.00		盛土・礫混じり砂	SG-Cs SG-Cs	暗橙灰	rd3		完新世	風化花崗岩起源の中～粗砂。径5～10mm程度の亜円礫が5%程度混入。全体的に細粒分を含み不均質。含水は少量。深度2.45m以深，カリ長石粒子主体の粗砂。	07/12 2.45
3 4	-2.11	4.45		礫混じり砂	GS-Cs GS-Cs	橙灰	rd3			粗砂主体。径5～20mm程度の亜角礫～亜円礫分15%程度混入。細粒分をほとんど含有しない。	
5 6	-4.26	6.60		礫混じり砂	GS-Cs SG-Cs	暗茶灰	rd3			中砂主体。径5～10mm程度の亜角礫10%程度混入。細粒分を多量に含有する。深度6.45m以深，一部粗砂が混じる。含水は中程度。径2～5mm程度の礫5%程度混入。	
7 8 9 10	-8.66	11.00		砂	S-Cs S-CsG SG-Cs SCs	灰～暗灰	rd3			細～中砂主体。臭気あり。深度6.80～7.00m間，礫混じり中砂を挟在。深度8.45m以深，全体的に細粒分を含み不均質。深度9.00～9.50m間，腐植物極少量混入。深度10.80～10.85m間，腐植物挟在。深度10.85m以深，細砂主体で細粒分を多く含む。	
11 12	-10.11	12.45		火山灰質シルト	VS VS	灰～暗灰		rc2		細砂を含むシルト主体。砂分40%程度含む。臭気あり。含水多い。全体的に腐植物少量含む。火山灰起源粒子が混じり不均質。	
13 14	-12.46	14.80		火山灰質砂	SV SV	暗茶灰	rd3		完新世	細砂主体，シルト分45%程度含む。臭気あり。含水多い。全体的に腐植物が少量混入。深度12.80～13.00m間，腐植物が挟在。深度13.50～14.50m間，火山灰起源粒子が混じり不均質，明瞭な火山灰層境界は確認されない。	
15 16	-14.12	16.46		砂質シルト	CL-S CHS	暗灰		rc2		細砂を含むシルト主体。砂分45%程度含む。臭気あり。深度14.90～15.00m間，細砂を挟在。	
17 18 19	-17.16	19.50		砂混じりシルト	CH-S CH-S CLS	暗灰		rc2		細砂を含むシルト主体。砂分を全体的に少量含み不均質。全体的に貝殻片，微細な雲母混入。全体的に腐植物が少量点在。深度16.80～16.90m間，腐植物挟在。	
20 21 22 23	-20.66	23.00		シルト混じり砂	SCs	暗茶灰	rd3			細砂主体，シルト分10%程度含む。全体的に腐植物を不均一に混入。臭気あり。微細な雲母混入。深度19.90～20.00m間，腐植物挟在。深度21.50m以深，シルト含有率減少。	
24				砂		灰	rd3				

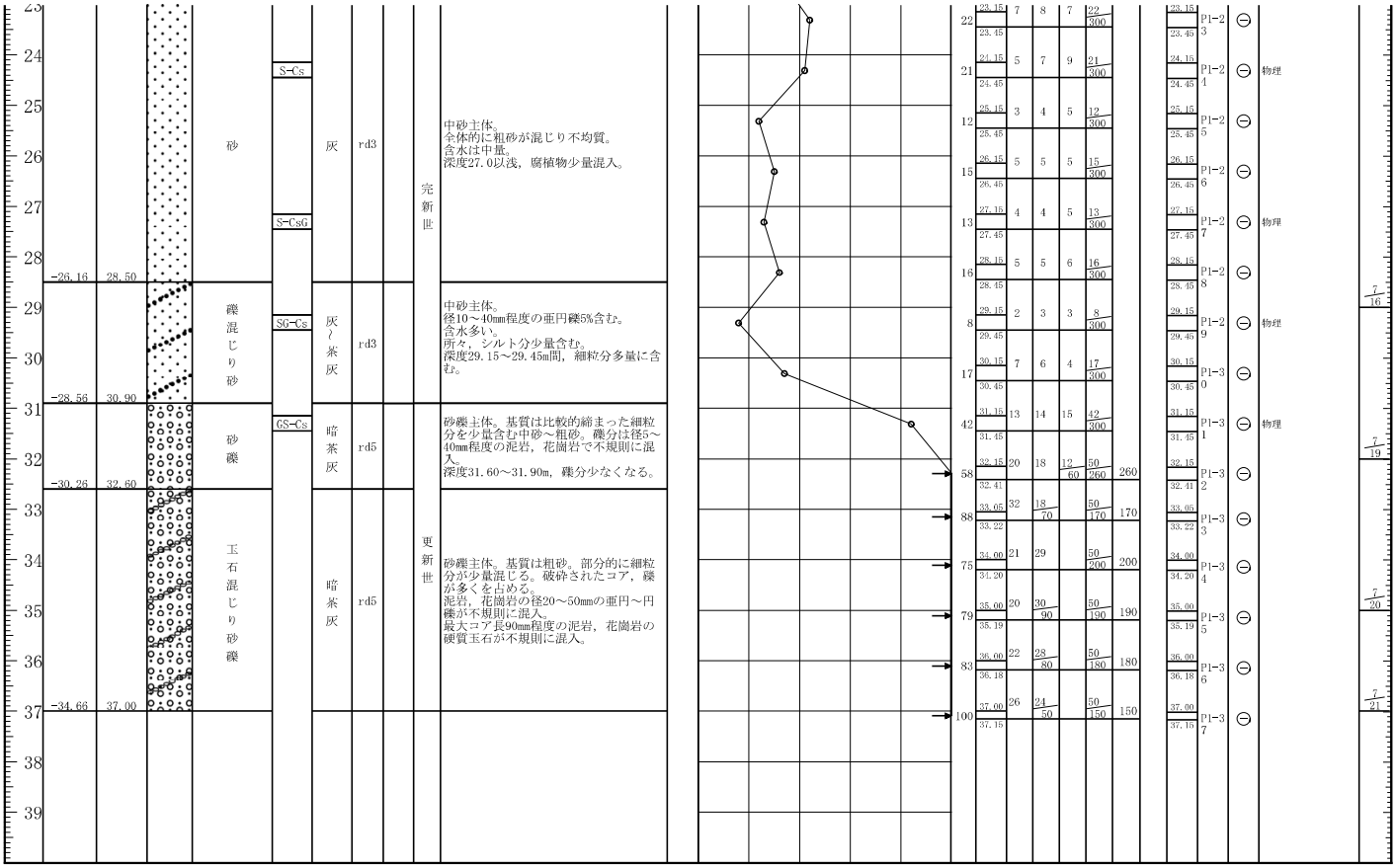
標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.45	1/140	1/110	1/110	3/360		
11	1.51 2.15	3	4	4	11/300		
19	2.45 3.15	6	7	6	19/300		
18	3.45 4.15	6	6	6	18/300		
18	4.45 5.15	6	6	6	18/300		
14	5.45 6.15	4	6	4/110	14/310		
16	6.46 7.15	5	6	5	16/300		
17	7.45 8.15	5	6	6	17/300		
15	8.45 9.15	4	4	7	15/300		
22	9.45 10.15	6	8	8	22/300		
8	10.45 11.15	1/70	3/130	4/110	8/310		
11	11.46 12.15	3	4	4	11/300		
12	12.45 13.15	3	4	5	12/300		
10	13.45 14.15	3	3	4	10/300		
3	14.45 15.15	1/110	1/110	1	3/320		
3	15.47 16.15	1/110	1	1	3/310		
6	16.46 17.15	2/120	2	2/80	6/300		
6	17.45 18.15	2	2	2	6/300		
5	18.45 19.15	1/90	2/110	3/130	6/330		
9	19.48 20.15	2	3	4	9/300		
12	20.45 21.15	3	4	5	12/300		
15	21.45 22.15	4	5	6	15/300		
22	22.45 23.15	7	8	7	22/300		
	23.45						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.15	P1-1	⊖	物理		
1.51 2.00 2.15 2.45	T1-2-1	⊕	物理・三軸		
2.80 3.15	P1-3	⊖	物理		
3.45 4.15	P1-4	⊖	物理		7/12
4.45 5.00 5.15 5.45	T1-2-2	⊕	物理・三軸		
5.80 6.15	P1-6	⊖	物理		
6.46	孔内水平載荷試験			E=5.98E+03kN/m	
7.15	P1-7	⊖	物理		
7.45 8.15	P1-8	⊖	物理		
8.45 9.15	P1-9	⊖	物理		
9.45 10.15	P1-10	⊖	物理		7/13
10.45 11.15	P1-11	⊖	物理・液塑性		
11.46 12.15	P1-12	⊖	物理・液塑性		
12.45 13.15	P1-13	⊖	物理		
13.45 14.15	P1-14	⊖	物理		
14.45 15.15	P1-15	⊖	物理・液塑性		7/14
15.47 16.15	P1-16	⊖	物理・液塑性		
16.46 17.00 17.15 17.45	T1-2-1	⊕	物理・液塑性・圧密		
17.80 18.15 18.45	P1-18	⊖	物理・液塑性		
19.15 19.48	P1-19	⊖	物理・液塑性		
20.15 20.45	P1-20	⊖	物理		7/15
21.15 21.45	P1-21	⊖			
22.15 22.45	P1-22	⊖			
23.15 23.45	P1-23	⊖			


砂
S-Cs
S-CsG
灰
rd3
完新世
中砂主体。
全体的に粗砂が混じり不均質。
含水は中量。
深度27.0以浅，腐植物少量混入。
-26.16
28.50
礫混じり砂
SG-Cs
灰～茶灰
rd3
中砂主体。
径10～40mm程度の亜円礫5%含む。
含水多い。
所々，シルト分少量含む。
深度29.15～29.45m間，細粒分多量に含む。
-28.56
30.90
砂礫
GS-Cs
暗茶灰
rd5
更新世
砂礫主体。基質は比較的締まった細粒分を少量含む中砂～粗砂。礫分は径5～40mm程度の泥岩，花崗岩で不規則に混入。
深度31.60～31.90m，礫分少なくなる。
-30.26
32.60
玉石混じり砂礫
暗茶灰
rd5
砂礫主体。基質は粗砂。部分的に細粒分が少量混じる。破砕されたコア，礫が多くを占める。
泥岩，花崗岩の径20～50mmの亜円～円礫が不規則に混入。
最大コア長90mm程度の泥岩，花崗岩の硬質玉石が不規則に混入。
-34.66
37.00
物理
物理
物理